



サポチル関東 主催

グループスーパーヴィジョン

子どもから青年期までの事例を検討する少人数グループで、
2020年度メンバーを募集いたします

子どもの心の臨床家になっていく過程において、事例経験を積み、それについて考えていく営みはその中核と言えるでしょう。本グループでは、スーパーヴァイザーと一緒に一定の事例について継続的に検討を重ねる中で、事例の理解、臨床家としてのあり方や介入にも新たな視点が生じ深まっていく場となることを意図しています。参加者は主体的に考え、かつ自分の情緒的な体験や考えを他者に提示することが期待されます。固定したメンバーシップの中で対話に携わることは、子どもの心の臨床家としての成長にもつながることでしょう。

期間： 2020年4月～2021年3月（全11回22セッション）

日程： 原則毎月第4日曜 14時～17時15分

※1回につき90分×2セッションを設け2事例を検討します

※8月はお休み、6月と10月は講師と受講者で相談の上で決定します

※できるだけ欠席を避けるために、受講者の都合等により適宜日時を変更することがあります

対象者：臨床心理士、公認心理師、医師、それに準ずる専門家

子ども、思春期～青年期の事例（開始時18歳以下）の呈示が可能で、

通年参加できる方

定員数：5名

受講料：1万円／1回（2セッション）

※都度支払、欠席の場合にも料金が発生します

会場： クリニックおくでら（小田急線経堂駅徒歩5分）

※本グループスーパーヴィジョンは、サポチル認定子どもの精神分析的心理療法士の取得のための単位として認定されます

◆スーパーヴァイザー

奥寺 崇 先生

群馬大学医学部卒業後、同附属病院助手、医学部学内講師。その間Menninger School of Psychiatry、Tavistock&Portman NHS Trustに留学、帰国後、赤城高原ホスピタル副院長、国立精神神経センター武蔵病院院長を経て、世田谷経堂にて個人開業。子どもの心理療法支援会特別指定スーパーヴァイザー。国際精神分析協会会員。

■申込方法

1. 以下の手順に従い、メールにてお申し込みください。

タイトルを「2020サポチル関東GSV参加申込」とし、以下の必要事項を記載し、サポチル関東事務局宛て「info-kanto@sacp.jp」にメールを送ってください。

◆必要事項：①氏名（ふりがな）、②所属、③職種（臨床心理士、公認心理師、医師、その他）、④E-mail アドレス（携帯アドレスは不可）、⑤志望動機、⑥新規申込／継続申込いずれか

2. 参加申込メールの確認後、事務局より、「申込受付メール」をお送りします。

3. 事務局より、「受講可否通知メール」を送信します。（3月中旬予定）

※定員を超える場合は前年度からの継続参加者、サポチル専門会員を優先致します。

※申込みその他についてのお問合せも「info-kanto@sacp.jp」にてお受け致します

締め切りは2020年2月29日（土）

サポチル関東のTwitterでも随時研修情報を発信していますのでぜひご覧ください！